

煌

第46号

発行◆令和5年1月

公益社団法人 向日市シルバー人材センター

☎617-0006 京都府向日市上植野町南開66-1 TEL.075-932-3987 FAX.075-934-8600

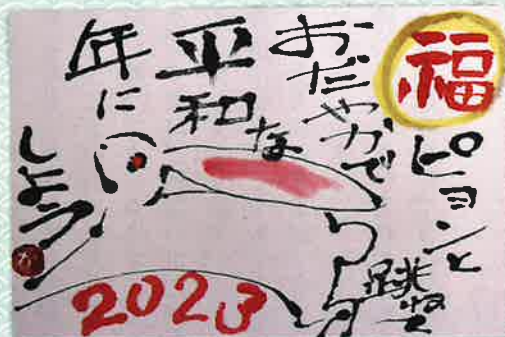
URL: <http://muko-sjc.com/> e-mail: muko@sjc.ne.jp



写真撮影：「竹の小径」 上植野町 末元 修次



絵：寺戸町 中島 清和



絵：寺戸町 久保田 和美

謹賀新年





理事長 嶋田善久



新年明けましておめでとうございます。会員の皆様方には、令和5年の初春をご家族ともどもお健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

発生から3年近く経った新型コロナウイルスの感染は、拡大、縮小を繰り返しながら、今も社会経済活動に大きな影響を及ぼしています。

しかしながら、オミクロン株対応ワクチン接種や治療薬の開発が進むにつれ、マスク着用基準の見直しや行動制限の緩和など、社会経済活動も徐々に回復の兆しが見えてきました。

当センターでも、一昨年に比べると契約額、就業率ともゆるやかに回復しており、コロナ前の水準に戻りつつあります。

昨年の定時総会は会員の皆様にも参加いただき3年ぶりにイオンホールでの開催となりました。各種セミナーや講習会も感染対策を講じたうえで規模を縮小して実施できました。

このコロナ禍の大変厳しい状況下で、

感染防止に努めながら事業をいかに継続していくか、みんなで知恵を出し合って運営してまいりたいと考えております。

さて、我が国においては、人口減少、少子高齢化が進展し、人生百年時代を迎えた今、誰もが生涯現役で活躍できる社会の実現が求められています。

このような中で、当センターにおきましても、高齢者宅での日常生活支援、留守家庭児童会の担い手などの子育て支援、また、コロナ対策として小中学校の消毒業務など、市の施策や地域ニーズに対応した事業に積極的に取り組んでいるところであります。

また、本年10月からは消費税におけるインボイス制度の導入が予定されており、予定どおり施行されるとセンターに新たな税負担が増え事業運営に大きな影響を及ぼすことが想定されることから、早急に対応策を講じる必要があります。

このほか、喫緊の課題である会員の拡大につきましても、現在、全国的に取り組んでいる「会員百万人計画」に基づき、新規会員、特に女性会員の拡大を目指して、様々な広報・啓発活動を展開するとともに、魅力あるセンターづくりを推進するため、役員員一丸となつて努力してまいり所存でございます。結びにあたり、新しい年が皆様方にとりまして素晴らしい一年となりますよう心からお祈り申し上げ新年のごあいさつといたします。



向日市長 安日舟



新年おめでとうございます。

公益社団法人向日市シルバー人材センターの皆様におかれましては、2023年の新春を健やかにお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

また、会員の皆さまにおかれましては、見守り活動やボランティア活動など、豊富な知識と経験を生かされ、様々な分野で地域社会の担い手としてご協力をいただいておりますことに厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は市制施行50周年という記念すべき年を迎え、「つなごう、明日のむこうへ」というキャッチコピーのもと、「ぐるつとむこうバス無料おためし乗車」や「旧上田家住宅アートギャラリー展」の開催など、さまざまな記念事業の開催を通じ、市民の皆さまと50周年のお祝いをする事ができました。

した。

この50年の間にまちの様子は大きく変化しましたが、とりわけ昨年は、森本東部地区の土地区画整理事業が進み、日本電産株式会社による新しい社屋が完成するなど、市民の皆さまにもその変化が目に見えてお分かりいただける一年でもありました。

そして本年は、永守重信様からご寄附いただきました市民会館の開館や、リニューアルした向日市健康増進センターが運営再開を予定するなど、市民の皆さまがこれまで以上に活動いただきやすい環境が整ってまいりますので、多くの皆さまにご利用いただけることを期待しております。

今後におきましても、向日市に暮らす全ての皆さまが、今までの上にも暮らしやすく、そして、誇りを持っていただける魅力あるまちづくりに取り組んでまいりたいと存じます。

会員の皆さまにおかれましては、今後も豊富な知識やご経験を活かし、引き続きお力添えをいただきますようお願い申し上げます。結びにあたり、貴センターのますますのご発展と、会員の皆さまにとつてこの一年が幸多き年となりますよう祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

シルバー人材センター普及啓発活動



シルバー人材センター事業普及啓発促進月間の取り組みの一環として、ボランティア清掃を行いました。これは、シルバー事業の社会的意義、活動内容を広く市民の皆様や関係機関等に理解していただくとともに、高齢者のセンターへの加入の働きかけ及び就業拡大を目的に、毎年この時期に全国的に普及啓発活動を行っているものです。

ボランティア清掃は、11月27日(日)に、会員・役員31名が参加し、センター周辺、築地跡公園の落ち葉掃き、阪急西向日駅周辺のゴミ拾いを実



施し、美化に努めました。

竹ぼうきとゴミ袋を手には、赤や黄色に染まった落ち葉をはじめ、空き缶やタバコの吸い殻などを1時間かけてゴミ袋50袋程収集しました。

お天気にも恵まれ、「キレイに掃除が出来て気持ちがいい」「久しぶりに会えた会員さんがいたので話ができて良かった」と、1時間では足りないくらい皆さん熱心に活動していただきました。ご協力ありがとうございました。

向日ふるさと YouTube で視聴できます



作詞：平林 勇夫
作曲：西小路 一葉
歌：西小路 一葉



平林会員が作詞した向日市の応援歌「向日ふるさと」がYouTube で視聴できます。

就業会員募集中!!

- ▶ 除草 (公園、空き地、一般家庭)
- ▶ 植木剪定 (経験者又は興味ある方 歓迎)
- ▶ 植木剪定補助 (剪定枝の袋詰め)
- ▶ 分別ゴミ指導
- ▶ 清掃 (体育館等施設・事務所)
- ▶ ゴルフ場球拾い
- ▶ 学校管理
- ▶ 交通指導 (通学路)

安全・適正就業委員会

安全・適正就業委員会では、昨年の夏期に実施しました安全パトロールにおいて、チェックポイントを業務別にまとめました。今後の安全就業の参考にしていただきますようお願いいたします。

また、近年の温暖化による熱中症の予防にも力を入れています。会員の皆様には、引き続き安全就業に努めていただきますようお願いいたします。

分別収集指導業務

物集女町（回生病院北交差点前ほか）

- 3週間ぶりの回収であったため、ただでさえ前日出しが多いうえ、持ってこられる人も多いため処理が追いついていなかった。

- プラスチックごみの回収頻度が少ないため、プラごみ入れがいっぱいになり、袋に入れて横に



↑前日出しゴミの状況など収集ステーションをパトロールしました

積み上げている現状。90Lの袋を配置したらどうか。

- 前日出しのゴミが非常に多く、テレビなどのリサイクル対象の物もあった。8時を過ぎてからも前日出しのゴミが処理しきれっていない状況。夜間の見回りもあり、少しは改善されてきているが、時間が経つとまた戻る傾向にある。引き続き前日出し対策を続けるのが良いと思われる。

交通指導業務

第2向陽小学校区

- 保護者と連携して、横断後の次の交差点での安全の確保までされていたのが良かった。黄色のパーカーを使用されていたが、目立つシルバーのベストと併用できれば尚良かった。

- 南側の日陰で待たれており、熱中症の危険もあるが、30分の仕事でもあり、通学児童にも認知されるように北側で待つのが望ましい。あと、帽子も持っていたが、被っていなかったため、被るのが望ましい。

- 北の方からくる児童が横並びになることがあり、シルバーを通じて学校に報告させてもらっているが、中々改善されないらしい。

園児見守り業務

第1保育所

- 早めに車の対応をすることで、本人及び利用者の

の安全を図っておられた。曇りや雨の日ではカッパを着ての対応となり、より一層の熱中症対策が必要になるため、いつも以上のこまめな水分補給をお願いした。

植木剪定業務

個人宅

- 麦わら帽子を着用されていた。安全の観点からはヘルメットが望ましいが、猛烈な暑さを考えると熱中症の危険性もあり、木の高さ等を勘案して使い分けも大切かと思われる。

- フェンス越しに梯子を掛けた際、坂道であったため木材をかまし、水平を保ち、ロープで梯子を固定されていたのは良かったと思われる。

- 慣れているが故か、天板に乗って作業されていたが、危険が伴うので、その場で指摘させてもらった。三脚の角度も少し開き気味で、乗り口が水平になっていなかったため、足の長さなどで調整されると良い。



↑全国的に植木剪定中の転落等の事故が多発しています

除草業務

個人宅

● 3人共に距離を開けて作業されていたので、危険は少なかった。多少道具類が散らばっていたので、もう少しまとめて置くと良い。

駐車場案内業務

市役所内

● 駐車場の案内ということで、車とすれ違う時などは、歩道に身を隠し、車との接触を避けられていた。駐車台数が8台程度で、どうしても満車になりやすく、満車のプレートをもって前に出ることもあり、プレートを立てるスタンドなどがあれば負担も減るのでは。熱中症対策としてパラソルを用意してもらったが、誘導などしている中々座る機会もない。熱中症の危険も高いため、酷暑時などは有効に活用してもらえれば良いかと思われる。

道路植栽管理業務

市民プール付近

● 車道に出て作業する時は、道路に三角コーンを置いて作業されていた。車がすれ違う時に作業員と近くなるため、危険を感じることもある。歩道での作業については、電動自転車がいスピードで走ってくる場合があるので、その点についても意識されている。スペースに余裕があれば歩道にも三角コーンを置くと、より安全になると思われる。



↑道路の除草・清掃作業では、車だけでなく自転車の通行にも注意が必要です

事故報告

令和4年7月から12月に発生した事故は以下のとおりです。

- 就業途上、自転車で道路を横断しようとしたところ、乗用車と前輪が衝突し転倒。(69歳 男性)
- 草刈り機による除草作業中、現場内に駐車中の会員の車のリアガラスを破損。(86歳 男性)
- 施設の管理業務中、工事業者の方が、会員の体調不良に気づき、救急車要請をされ、病院に搬送。(80歳 男性)
- ダンプ走行中に交差点内で自転車と接触。双方とも、けが・傷なし。(77歳 男性)
- 伸縮扉を開けようとしたとき、扉の固定具に気づかず開閉。その際に固定具が曲がり、扉部分も破損。(76歳 男性)

連合会・安全パトロール

昨年11月22日に、京都府南部の安全就業のパトロールとして、京田辺市の市営大住霊園の敷地内除草作業を視察しました。広大な敷地であり、作業員の間隔も広く取られており、比較的安全に作業されていました。刈払機を多用するため、以前には多数の賠償事故や傷害事故が発生していましたが、令和元年頃から石飛のしにくい草刈り刃に替えられたため、事故件数は以前の半数以下になったそうです。

向日市シルバーでも令和2年に飛び石事故が多発したため、石飛のしにくい刃を使い始め、飛び石事故も減ってきました。今後も刈払機講習会等を活用し、安全就業に努めたいと思います。



↑京都府南部の6センター合同で、京田辺市シルバー人材センターの除草作業現場を視察しました

刈払機の安全講習会

12月15日、朝堂院西方官衙にて、京都府農業機械士協議会から農業機械士2名をお招きし、刈払機の安全講習会を開催し、会員9名が受講しました。

この講習会は、全国の賠償保険事故で最も多いのが、除草、草刈業務であることから、安全就業対策の一環として、「刈払機の安全な使い方について」というテーマで事故の未然防止を目的に開催したものです。

今回は、刈払機の使い方方の基礎や、機械の構造についても詳しく説明していただきました。



↑刈払機の正しい使い方について熱心に学ぶ参加者の皆さん

受講者に聞きました!

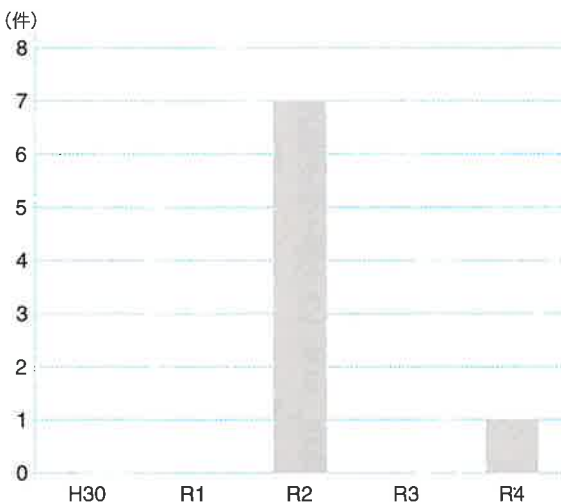
講習を受けた感想

- 点検の大切さを知り、オイル刺しなどの定期的なメンテナンスも重要だと思った。
- 機械の構造の説明を詳しく聞けたのが良かった。
- 機械の仕組みについて、エンジンやガソリンタンクの構造、エアクリナーの使用の大切さ等が分かった。
- 機械の取扱い、エンジンの分解など勉強になった。
- ガソリンタンクの構造の説明が参考になった。

安全面で日頃気を付けていること

- 刈る向きに注意し、シートなどにより飛散事故防止に努めている。
- 複数人での作業時には、間隔を開ける、石のありそうな場所では低速にするなど回転数も意識している。
- 通行人等が近くにいたら作業を中断している。
- 始業点検、周りの状況判断、人と人との作業距離の間隔。犬の散歩の方は、不意に近づいて来ることもあるので特に注意している。
- 機械刈りをする前に、周辺の石の有無を下見する。近くに自動車や窓ガラス等の有無に注意し、シートなどを活用して飛散事故に対応している。

刈払機による事故件数(過去5年間)



※令和2年度に7件と突出している。その後、令和3年度は0件、令和4年度は1件と事故件数は減少している

これまでの事故の状況

- 破損した刃が15m先で作業中の会員の腕に刺さり、切り傷の軽傷
- 石飛びにより、隣接の住宅のガラスを破損 (2件)
- 作業中に転倒し、右腕を強打
- 石飛びにより、隣接する住宅の車のフロントガラス破損 (2件)
- 石飛びにより、現場に駐車中の車のリアガラス破損 (2件)



できるだけ石飛びの少ない刈刃を使用しています→

チップソー

生活支援講習会

昨年10月18日から19日の2日間、株式会社ニチイ学館より 中島周子先生^{なかしまちかこ}を迎え、向日市民体育館で「生活支援講習会」を開催しました。

この講習会は、高齢者活躍人材確保育成事業の一環といたしまして、京都府のシルバー人材センター連合会と共同で開催したもので、会員と市民ら10名が受講しました。

講習会1日目の「接遇マナー」は、訪問時の挨拶、お客様との関わりかたを学び、また午後「認知症の理解」については、認知症の方への接し方を中島先生の実体験をもとに分かりやすく説明して



↑2日目は車いすを使った実技講習を受けました



いただきました。

2日目は、高齢者の心身状況の理解、車いすを使った介助の演習を行い、介護の基本を学びました。今年度も、新型コロナウイルスの影響を受け、受講者数を減らし消毒や換気しながらの開催になりましたが、皆さん積極的に質問をし、演習も楽しく学びました。

当センターでは、平成29年度から、高齢者等の居宅におきまして、掃除、洗濯、ゴミ出しな

どの日常生活支援について、向日市と「地域支え合いヘルプサービス事業」の業務委託契約を結んでおり、当センターも福祉の担い手として期待されています。

生活支援講習会を受講して

向日町 大野 光恵



シルバー人材センターの講習会に2日間参加しました。

掃除、洗濯、買い物、調理と色々な支援がありましたが、自分の得意とする支援を考える事を教わりました。車いすの体験もさせて頂きました。

それから、五感の活用しかた、全部お手伝いをして駄目で本人に決定してもらおう事が大事であること。

あいさつ(笑顔)おたずね(確認)おことわり(了承)等の対応が出来るように頑張りたいと思います。講師の先生の体験談などユーモアたっぷり楽しかったです。



歳末おかたづけ応援隊

昨年11月下旬から年末にかけて向日市社会福祉協議会と協力して「歳末おかたづけ応援隊」事業を行いました。

この事業は生活支援が必要な70歳以上の高齢者世帯の生活の自立と安定を図るため、「おかたづけ等」をサポートする事業で、家具移動や衣類の整理、家内の掃除などを行いました。



令和2年、3年度はコロナ感染拡大の影響により中止となり、今回3年ぶりの実施になりましたが、69件の利用があり20名の会員が応援隊として従事しました。

利用者からは「寒い中ありがとうございました。」「足腰が悪いので高い場所の掃除が出来て良かったです。」「ありがとうございました。」「声のいたいております。」

歳末おかたづけ応援隊に参加して

向日町 陰貞 博史



「おかたづけ応援隊」での依頼が多かったのは、

- 1位 換気扇の油汚れ取り
- 2位 窓・サッシ拭き
- 3位 照明器具の汚れ取り

4位 棚等の配置換え（力仕事）でした。意外と汚れているのは「冷蔵庫の上」。ホコリがたくさんたまっていました。

高い場所の掃除、力仕事は誰かの手助けが必要です。

一人暮らしで困っている方が多く、お掃除のお手伝いですが、作業の合い間の会話も喜ばれているようで、私も嬉しく思いました。

健康講座

8月26日、向日市民体育館にて、洛和会京都健診センターから健康運動指導士2名をお招きし、「健康講座」を開催し、会員、職員19名が受講しました。

この講習会では、腰痛・肩こり・ひざ痛などの疼痛管理・疼痛予防の必要性について学び、正しく効果的な運動方法を理解し運動習慣を早期に獲得できるように上半身、下半身ごとのストレッチの仕方を教わりました。

講座受講前に、inbody測定器を用いからだの体水分、たんぱく質、ミネラル、体脂肪量、筋肉量など家庭用の体重計より詳しく測定していただき、今の自分のからだの現状を知ることができま



↑ inbody で測定する参加者

した。自分が思っていたより体脂肪量が多かったり、筋肉量が少なかったり改めて身体を見直す良い機会になりました。

12月13日には、フォローアップ講座として洛和会京都健診センターの方にお越しいただき、inbody測定器で変化を確認しました。

健康講座にて

鶏冠井町 藤原 昇

私はセンターの会員になって、11年を過ぎました。

身体は、洗々動いています、人は筋肉、骨、あらゆる器物の代謝が必要です。それには、良い運動と食事です。

センターでの就業は週2〜3回、1〜2時間の軽作業を行っていますので、運動にもなりますし、地域社会にも少し貢献出来、一石二鳥になります。これからも、このままが続けたいと思っています。センターの皆様方よろしくお願ひします。

会員のひろば

健康で働ける喜び

寺戸町 梅村 秀樹



人間、年を重ねるたびに今までに経験した事のない症状などがでてくる。体力が落ちて長時間労働が辛くなる。無理して続けると回復に時間がかかる。

私も長い間、シルバー人材センターに在籍していましたが、昨年散歩中に少しふらつく兆候があり、血圧を測定したら上が190、下が80もありびつくりしました。すぐに病院に行き診察してもらいました。



「季節が冬なので寒い時、皆さん血圧は上がりますが、高すぎるので薬治療してください。特に寒風に当たらないで長く屋外にはいないように」と言われました。いままで血圧なんか気にしなかったのですが、今は毎日測定して手帳に記録しています。

血圧も正常に戻り何とか元気に暮らしています。医療費も2割になり病院には行きたくないのですが病には勝てませんから。

長く務めていた保育園の仕事は辞退して、今はセンターから連絡があれば出来る仕事をしています。

私は畑作業を週2回していますが、空いている日は好きなこととして体を動かすようにしています。先日紅葉を観に「るり溪」に行つてきました。紅葉には少し早かったが、周辺には温泉や釣り堀があったり、退屈せずかなり歩きました。山の空気を吸い込んで気持ち良かったです。これからも体調に気をつけて頑張りたいと思います。

元気な日々を過ごせる喜びを感じながら

スーパード堤防

上植野町 平 託治



スーパード堤防とは堤防の幅が50m以上ある堤防です。普通の堤防は、幅が4〜5mで国交省のパトロール車がやっと通れ木津川や桂川ではサイクリングロードとして利用しています。

普通の堤防では、水量が多くなると決壊するおそれがあります。そこで国交省は淀川の両岸をスーパー堤防にしたい構想を持っています。しかし、膨大な費用が必要なためなかなか実施できません。そこで淀川で急激に水量が増すところ木津川、宇治川、桂川の三川が合流する地点、ここをスーパー堤防にすべく、1990年代、阪急水無瀬駅近

くで淀川に面している住友特殊金属山崎工場に話を持ち込まれました。会社と国交省の間で工期と総工費が話しあわれ合意にいたり工事が始まりました。

まずは、工場の敷地内で淀川に面した約50m以内の建物すべてを工場内の空き地や仮設建屋を建て移設します。山崎工場は社員数約500名で淀川の川下より「グラウンド」「浴場及びロッカールーム」「食堂」「診療所」「健保会館」この5つの施設を仮設建屋に移設します。移設が完了すればこれからは国交省の仕事です。重機を投入して建屋を解体し基礎を掘り起こしすべてを工場街に搬出し更地にします。

いよいよ新しい土の搬入です。幅50m長さ300m高さ7mの淀川の堤防と同じ高さまで土を入れます。これが終わればスーパード堤防の完成です。土地は会社に返されます。返された土地に会社は体育館を建て一物としてその横に1階は診療所、浴場ロッカールーム、2階は食堂と立派な建屋が完成しました。工期は2年かかりました。グラウンドはスーパード堤防完成後、売却し今はスーパード堤防の上に15階建てのマンション3棟が建っています。



元の堤防と会社の敷地までの間が広場となり平日はお年寄りの散歩コース、休日は親子連れがキャッチボールやバトミントンなどして遊ぶ広場になっています。

私の 撮っておきの一枚



「鳩」

寺戸町 夏秋 典行
(令和4年11月逝去)

最後の写真になりました。いままでありがとう



「雪の渡月橋」

寺戸町 高原 修



「コウノトリ(湖北町)」

寺戸町 北川 新造



「南天と竹」

上植野町 末元 修次



「北の国から(吹上温泉)」

事務局 片岡 法康



事務局だより

新しく仲間入りしたみなさん
 (地域班別 令和4年8月〜12月入会順)

寺戸 大 林 貞 夫

安田 芝 耕 史 進

鶏冠井

藤和 日下 川部 佳津 美史

上植野

瀧羽 西眞 藤和 日下 川部 佳津 美史

向日町

大竹 野内 光陽 惠子

退会されたみなさん
 (地域班別 令和4年8月〜12月退会順)

上植野 村上 紘志

おくやみ

寺戸 夏元 秋典 行 悟

上植野 谷口 雅彦

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

配分金の改定予定について (令和5年4月から)

昨年10月から、京都府の最低賃金が937円から968円に改定されました。

最低賃金は、会員の配分金には適用されませんが、当センターでは京都府の最低賃金を考慮し、また、発注者様のご理解を得る中で、会員の皆様への配分金最低単価を令和5年4月から増額する予定で進めています。(現行940円)

今後も、会員の皆様の就労条件の向上に努めてまいりますので、引き続きよろしくお願ひします。

令和5年度年会費について

令和5年度年会費は年度が変わる4月1日に発生します。退会をお考えの方は、3月末までに事務局へお申し出の上、所定の退会手続きをしてください。4月以降の退会お申し出には1年分の会費支払いが必要となりますのでご了承ください。

なお、継続会員の方には、5月頃に年会費納入の案内を送付させていただきます。ご了承ください。

今後の行事予定

- ◆「交通安全講習会」 3月予定
- ◆「高齢者のスマホ教室」 2月予定
60歳以上の市民及び会員で希望者を対象に開催します。



人権研修のご案内

京都府シルバー人材センター連合会主催の「令和4年度人権研修」が開催されます。

■日時 令和5年2月6日(月)
14:00~15:15

■場所 向日市民体育館(小体育館)
向日市森本町小柳 23-1

■対象者 各シルバー人材センターの役職員及び会員

■テーマ ①「同和問題と人権」
②「障がい者と人権
~コロナ禍の問題も含めて~」

■講師 ①京都府シルバー人材センター連合会
事務局長 横山 哲
②龍谷大学
非常勤講師 松波 めぐみ



事務局だより

会員の就業相談

会員になったが就業の機会が少ない方のために、就業相談日を設けています。お気軽にご相談ください。

- ❖日程…毎月第3水曜日
- ❖時間…午後2時～5時の間
- ❖場所…センター事務所

会員募集

地域で共に働く仲間を募集しています。会員の皆さまのご近所やお知り合いの方にぜひ声をかけていただき、誘ってみてください。

- 対象となる方
向日市在住の60歳以上で健康・働く意欲ある方

※入会申込みは、随時受け付けしています。
詳しくはセンター事務局までお問い合わせください。

〈紹介キャンペーン〉

ご紹介いただいたお友達、お知り合いの方が、3月末までにご入会頂きましたら、ご入会頂いた方とご紹介いただいた会員の方へステンレスボトルをプレゼントいたします。



会報記事募集

センターでは、年2回発行の会報紙「煌」に掲載する写真・投稿記事を募集しています。写真・感想文・随筆・短歌・俳句・川柳など、会員の皆様のご応募お待ちしております。

履行確認書は速やかに提出箱へ

業務別に提出していただくように、引き出し付の箱を用意しております。

確認書提出の際には、記入間違いや漏れのないようにしてください。

就業後は速やかに提出いただきますよう、ご協力をお願いします。



※密をさけるため、当面、玄関前にも提出箱を設けています。

事務局からのお願い

事務所の営業時間は、午前8時30分から午後5時15分となっております。通常の連絡事項は、できる限り営業時間内にご連絡いただくようご協力をお願いします。なお、営業時間外で留守番電話に切り替わっている場合で、緊急連絡が必要になった時は、留守番電話に「お名前」「電話番号」「ご用件」をお入れ下さい。改めて、ご連絡いたします。

あとかき

あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、令和5年の正月をどのようにお迎えでしょうか。

昨年も一昨年に続きコロナ禍での一年となりました。暗いニュースが続いた中で、大リーグ大谷選手の二刀流の活躍は落ち込んだ私たちを元気づけてくれました。日本でもヤクルトの村上選手の最年少3冠王、王選手を抜く56本の本塁打がありました。

また、年末のカタールでのサッカーワールドカップでは、29年前のドーハの悲劇を吹き飛ばすような快進撃で、ドイツ、スペインの強豪国に勝利するという奇跡的な活躍がありました。

コロナに対する警戒感や次々に薄れつつありますが、未だ終息が見えず感染の第8波の到来やインフルエンザとの同時流行なども懸念されています。

このようなコロナ禍の状況においても、何かしら自分なりに楽しみを見つけて、前向きに過ごしていきたいものです。

今年は3月に野球のWBCの大会があり、侍ジャパンでの大谷選手の活躍が期待されており、また、私たちをワクワクさせてくれることでしょう。

今年も、コロナに気をつけながら、会員の皆様と一緒に乗りきりたいと思います。本年もどうぞよろしくお願ひします。

事務局長 柴重信
 業務係長 大嶋英夫
 業務係 中村幹雄
 片岡法康
 上田奈津子
 庶務係 木下恵美子